

皆様、明けましておめでとうございます。

令和7年を皆様とともに迎えすることが
できたことを、大変光栄に感じております。

ファミリーマイホームの施設長に就任して
から5度目の元旦となります。



こうして施設長としての責任を全うできるのも、利用者様やご家族様を含めた関係者様、そして日頃から日々従事している多くの職員の支えのおかげでございます。この場をお借りて、改めて御礼申し上げます。上図の写真は、今年の元旦にファミリーマイホーム屋上の東側の初日の出の写真です。そして、屋上の西側には、田園風景と富士山、そして澄みきった青空(送電塔の電線越しになります)が広がります。実は、1年前のこの景色は現在イオンモール株式会社が開発している「(仮称)八王子インターチェンジ北出店計画」の影響で見納めとなっています。これからファミリーマイホーム周辺地域は、良くも悪くも状況が一変してまいります。その変化に柔軟に対応しながら利用者様の生活の質の向上



を目指してまいります。

せっかく「(仮称)八王子インターチェンジ北出店計画」の話をいたしましたので、その概要は次月号で紹介いたします。

「コロナ禍」という言葉が一昔前の言葉となり、社会全体では以前同様の生活を送れるようになりました。ただ、感染症自体がなくなったわけではなく、現在もインフルエンザが猛威を振るっています。高齢者福祉施設などでは、ひとたび感染が確認されると瞬く間に集団感染(クラスター)となる可能性が高いため、ご家族様を含めたすべての関係者の皆様には、来園時の感染対策の徹底や、面会場所・時間の一部制限などへのご理解・ご協力を引き続きお願いしているところがございます。今後、状況を鑑みながらファミリーマイホームにおいては、事前の予約などもいただかずに、食堂や居室内でご家族との面会が可能となるように取り計らっていきたいと考えております。

昨年1月1日16:10に石川県能登地方で発生した地震を受け、ファミリーマイホームにおいても、昨年度から保存食などの備蓄品の増強、可搬型蓄電池を各フロアに設置するなどの対策を講じてきました。今年度は東京都の補助事業を活用し、部分的ではありますが施設の共用部電力を3日程度機能保持するための都市ガス式非常電源設備の設置に取り掛かる予定でおります。

昨年8月に石川県の被災地応援に伺わせていただく機会があり、そこで被災された高齢者福祉施設の理事長から「自分の命があったから、施設の利用者そして職員を守ることができた。いざという時はまず自分の命を大切にしてほしい。」という言葉が掛けられました。私はそれまで、自分を犠牲にしても大切なものを守ることがリーダーとしての使命・責務だの考えを改め、職員にも「まず自分

の命を守ること」をその都度説明し、事業継続計画(BCP)なども見直しました。

また、本年も人材育成や日々の業務改善などの「介護サービスの質の向上」を最優先事項として取り組んでまいります。モノやカネなどの資源は、短期間で成果を出せる場合があります。しかし、ヒトという資源は、長い年月をかける必要があります。おかげさまで、介護職員の安定的な定着はファミリーマイホームの大きな強みとなっておりますが、その「人材」を「人財」に育成することが重要です。「人財」とは誰からも評価され、組織からも財産と評価される職員を意味します。困難から逃げずに立ち向かう勇気と固定概念にとらわれない柔軟な思考、そしてそれを行動できる「人財」を様々な場面で指導育成してまいります。

ファミリーマイホームは、これからも法人理念にあるように「奉仕の精神 慈愛の心を育み 社会福祉事業で平和な社会に向けて貢献していく」使命を担ってまいります。入所されている利用者様やご家族様、そして地域の皆様にとって、心から安心して生活していただけるよう、職員全員で努力していくことをここに一念させていただきます。

最後に、ファミリーマイホームの利用者ご家族あての今年の年賀状に、利用者様の素敵な笑顔の写真を載せておりますのでお楽しみください。皆様にとって、明るく実りある一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



令和7年元旦

ファミリーマイホーム 施設長 田代航也